

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	地区公民館運営事業（吉永）		コード	03-02-04-13	
			担当課・係	吉永地域公民館	
事業実施期間	大項目(基本目標)		地域文化と人が輝くまちづくり	担当者	小原龍子
	中項目(基本施策)		生きがいのあるまちづくり		電話
総合計画 事業（政策）体系	小項目(施策)		指導者の育成・文化活動の推進		

事業について	
目的 (何のために)	地域住民の生涯学習活動の拠点として、地域の人材を生かした指導者や団体の育成を進め、文化・スポーツなどの各種事業を支援し、地区の自発的な活動も支援する。
対象 (誰・何を対象に)	神根・和意谷・三國地区3地区に在住する住民
内容	各地区での特色のある文化・体育・レクリエーション等の講座、催物の開催及び貸館業務

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
貸館利用者数	7,457	6,334	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,975	国庫補助金等		直接事業費	1,607	国庫補助金等	
	人件費	540	委託費負担	147	人件費	540	委託費負担	150
	合計	6,515	一般財源等	6,368	合計	2,147	一般財源等	1,997

必要人員	0.55	人	0.05	人
結果指標名	貸館利用者数		貸館利用者数	
結果指標量	7,457		6,334	
単位	人		人	
対前年比	-		84.94%	
活動にかかるコスト	6,515,000 円		2,147,000 円	
単位当たりコスト	873 円		339 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	地域住民の生涯学習の拠点として、各種事業を支援し、地区の自発的な活動もしている。		
成果指標名	貸館利用者数	式又は説明	地区公民館年間利用者数
	17年度	18年度	
成果指標量	7,457		
対前年比	-	0.00%	
到達目標値	8,000	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	本事業は法令に基づいて行われており、角速での文化・体育の振興と住民の親睦融和を図る機会を提供している。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	施設の使用料については、市内生涯学習団体においては免除しているが、冷暖房料については利用者負担としており、コストの効率化は適正と考える。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	それぞれの地区において、振興会等を組織し、運営には意見が良く反映されているが、今後は地区相互間の連携を密にし、範囲を広げた運営が必要である。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 新規講座、レクリエーションを企画し、利用者増加を目指している。
----------	---	---	---------------------------------------

目標値	結果指標量	結果指標量
成果指標量		

総合評価	講座の内容によっては、地区相互が連携し更なる交流、活性化を図りたい。	評価区分 <A~E> C
------	------------------------------------	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	地区相互間の連携	平成20年度	地区活動の活性化